令和7年度　飯塚市事務事業評価シート

令和　8　年　6　月　16　日　作成

事務事業名	交通安全対策事業	事務事業No.	633 - 7

1．基本情報

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
総務部	防災安全課	消防安全係	主任	中川　泉	課長	吉原　寿

施策体系				
総合計画	政　策	6	都市基盤・生活基盤
	施　策	3	生活安全の向上
	基本事業	3	交通環境の向上
その他の計画	個別計画		－

根拠法令・条例・要綱等	飯塚市安全・安心まちづくり推進条例、飯塚市補助金等交付規則、飯塚市交通安全協会補助金交付要綱				
事業開始年度	令和2年度	事業終了年度	－	事務事業類型	ソフト事業
実施手法	補助金・負担金交付	補助金等の支給	補助金等あり	実施計画期間	－

2．事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）

概要		交通安全思想の高揚と交通マナーの向上を図り、悲惨な交通事故をなくし、安全で住みよい交通社会の実現のため、各種啓発活動、及び飯塚地区交通安全協会が行う交通安全事業を支援するもの。
対象	働きかける相手・もの	市民、飯塚地区交通安全協会
手段	方法・働きかけ（活動指標）	春・秋の交通安全県民運動期間中の住民大会開催および早朝街頭指導の実施。一年を通し、のぼり旗を掲げ広く市民に啓発、及び補助金の交付
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	交通安全意識の向上を図る。飯塚地区交通安全協会が行う交通安全事業（地域住民の交通安全意識の高揚を高めるために広報誌の配付、新入学児童へのランドセルカバーの配布等）の支援を行う。

3．活動指標（決算成果説明書と連動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
交通安全県民運動期間中の職員による早朝街頭指導	回	従事した職員の延人数	550	600	600
補助金有効活用の協議	回	補助金の適正執行の指導を行う。	3	3	3

4．成果指標（決算成果説明書と連動）

指標	春・秋の交通安全県民運動参加人数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		人	550	目標値	550	600	600
説明	交通安全県民運動参加人数	方向性	達成目標年度	実　績	550	600	
		維持	毎年度				

指標	交通安全ふくおか隣組回覧配布回数	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
		回	5	目標値	5	5	5
説明	定期（4,7,9,12,1月　計5回）発行	方向性	達成目標年度	実　績	5	5	
		維持	毎年度				

指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込
				目標値			
説明		方向性	達成目標年度	実　績			

5．事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	－
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務	目 9 交通安全対策費
	大 99 その他交通安全対策費	中 4 交通安全対策費		他 0 事業

	(R2以降)	前年度実績（千円）			本年度実績（千円）			増減理由（10%以上の場合）	次年度予算（千円）		
投入人員（当該事務事業に対して１年間に投入した人員）	正職員	0.18	人	1,466	0.18	人	1,529		0.18	人	1,529
	任期付職員(保育士)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	再任用短	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級フル	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 1級パート	0.00	人	0	0.00	人	0		0.00	人	0
	会計年度 2級パート	0.15	人	515	0.15	人	549		0.15	人	549
人件費計（A）				1,981			2,078	－			2,078
事業費	直接事業費（B）			1,369			1,232				1,324
	総事業費（A＋B）			3,350			3,310				3,402
直接事業費のうちの主な歳出内訳	負担金補助及び交付金			1,203			1,203				1,203
	役務費			0			23				0
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）			0			0				0
	国・県支出金			0			0				0
	市債			0			0				0
	一般財源			3,350			3,310				3,402
	その他（　　）										

6．事務事業の事後評価★

評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性評価	高い	交通安全環境の向上は市民に対して安全安心を提供するもので、各種啓発活動、飯塚地区交通安全協会が行う交通安全事業を支援することは安全で住みよい交通社会の実現に繋がる。また、交通安全対策基本法第4条に基づき、啓発事業を行う必要があるため、市が関与することは妥当である。
効率性評価	高い	行政が行う交通安全事業（交通安全県民運動に関する事業）の一部を飯塚地区交通安全協会が実施することで、効率性があがる。各種啓発活動、飯塚地区交通安全協会が行う交通安全事業を支援することで、市の安全で住みよい交通社会の実現に貢献する。
有効性評価	高い	交通安全県民運動や各種広報活動を定期的に実施し、交通安全意識の向上を図った。今後も交通事故を減少させるために継続して市民への啓発を行っていく必要があり、その中で飯塚地区交通安全協会の事業は重要であり、有効性は高い。

7．前年度評価時の計画と実績

前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	これまでの啓発活動のみではなく、他の部署のイベント等などで啓発活動が出来ないかを交通安全協会と検討する。
一次評価	現状維持		
	コストの方向性	次年度以降にコスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	交通安全協会としての運営費用などをどのように今後まかなっていくかをヒアリング・協議していく。
	現状維持		

前年度改善策に対する実績　★　　※上記の改善策に対して今年度に実施できたこと、などを記入

ゆめタウンやイオンなどの商業施設で交通安全啓発活動を行ったが、これまで通りの啓発活動となってしまった。

8．今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★

【成果】　飯塚地区交通安全協会と協力して交通安全啓発活動として大型ショッピングセンターや大型新店舗での啓発活動を行った。春と夏の交通安全運動についても参加を積極的に声掛け、ボランティアとして多くの人が参加することが出来た。

【課題】　八木山展望台管理のために積み立てた資金を交通安全協会の運営や啓発に有効活用できるように協議していく。

9.今後の事業の方向性と改善策

成果の方向性 **現状維持**	【理由】　交通死亡事故を今後も増やさないために、本市において飯塚地区交通安全協会と協力して引き続き交通安全の啓発を行っていく必要がある。
コスト投入の方向性 **現状維持**	【理由】　八木山展望台管理のために積み立てた資金を交通安全協会の運営や啓発に有効活用できるように交通安全協会と協議していく。

次年度以降の改善策（課題解決や改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★

コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	これまでの啓発活動のみではなく、他の部署のイベント等や民間企業などと啓発活動が出来ないかを交通安全協会と検討する。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	交通安全協会としての運営費用などをどのように今後運営していくかをヒアリングし、協議していく。

2次評価 （最終評価）	成果の方向性 **現状維持**	交通安全の啓発については必要であり、これまで同様に推進していくべきものと考える。交通安全の取組みについて、どういった啓発が効果を発揮できているのか検証を実施し、効果が低いものについては、やり方の見直しを行う必要がある。今後、相手方と協議を行い、効果的な啓発に繋がるための、適切な補助金の活用を行っていくこと。
	コスト投入の方向性 **縮小**	時期に応じた効果的な啓発活動を行うための柔軟な事業費補助への転換、相手方の決算状況に応じた負担額の設定、負担割合についても協議を行い見直しを行うことで、コストについては十分縮小が可能と考える。